



発行：NPO コミュニティハウス片瀬山
 代表 佐藤英樹
 〒251-0033 藤沢市片瀬山5-19-3
 TEL&FAX 0466-90-4236

運営の三つの柱

- 1 山本邸を**地域の交流促進**に活用すること
- 2 **山本文庫**を地域のために活用すること
- 3 藤沢市の「**地域の縁側事業**」を実施すること

2016年10月オープンのコミュニティハウス片瀬山は2020年9月で4年が経過し利用者は1万7千人を超え5年目を迎えました。引き続き藤沢市の「地域の縁側事業」を中核に運営を続けております。しかし今年初めからのコロナ禍のため運営に苦慮しているところです。

4月、5月は全面閉鎖、2019年度の総会は5月にリモート&書面採決で行い、6月からは変則的な時間で開所しております。一向に先の見えない中、自粛が長引けば、施設を必要とする方々の生活にも支障が出ることになり、高齢者の多く集まるところとして、感染対策をしっかりと安全第一の運営を心掛けてまいります。

新型コロナ感染防止の運営を心掛けています (体調の悪い方は来所をお控えください)

利用者をお願いすること・・・マスク着用・入口で体温測定・手指のアルコール消毒・三密にならない施設側で励行していること・・・ドアノブや階段手摺の毎朝の消毒、湯飲み茶碗の消毒、換気・加湿、大人数の会合・イベントを中止すること、リモートシステム活用 など

(恒例の芋煮園遊会・サポーターズクリスマスは中止いたします)

当面の施設開設時間

2020/10/1現在

シフト	月	火	水	木	金
午前：10～13時	○	○	○	○	○
午後：13～16時	○	—	○	—	○



談話室はいつも珈琲サロン 月曜～金曜

長引く自粛生活で引きこもりがちになっていないでしょうか。

ご自分のフレール予防のためにも歩いて行けるところにあるハウスに出かけてみませんか。

本を探しにおひとりですらりと、散歩の途中で一休みに、また友人と連れ立っておしゃべり場所にと気軽にお立ち寄りください。

いつでも無料のお茶のサービスがあります。



またご希望の方には100円でお代わり自由のコーヒーのサービスがあります。

チクチク 月曜 午前/午後



手芸の好きな人たちが集まって、布を使った小物づくりを楽しんでいます。午前だけ参加の人、午後から来る人、終日目いっぱい楽しんで過ごす人、様々です。

子育てサロン 第4火曜午前

幼児とママ達のための8畳間のスペースです。寄贈されたおもちゃや絵本がたくさん。主任児童委員などスタッフが相談にのります。隣接するテーブルのある6畳の談話コーナーではママたちのおしゃべり時間も楽しめます。



PC&スマホ サロン 毎週水曜



水曜日は午前も午後も談話室でスマホやPCの使い方やトラブルの相談に対応します。また、第二水曜の午後は、講師が数人揃い大勢の相談に応じられます。スマホをはじめてみませんか、お手伝いいたします。



木曜サロン 木曜午前(リモート会議方式)

2017年3月からはじまった毎週木曜日の会合は、間もなく4年目に入ろうとしています。今年は新型コロナの影響で2か月の休会を余儀なくされましたが、その後はWeb方式に切り替え、数名はCHKに参りますが殆どのメンバーは自宅でPCあるいはスマホにより議論・意見交換をしています。今春来、新しいメンバーも増え15名前後、女性も加わり、毎週硬軟に富んだ議論を楽しんでいます。テーマは都度各自持ち寄り、事前にメールで配信します。9月には市社協の要請がありACP(事前医療ケア計画)という議題を取り上げました。Zoom方式に慣れたとは言え、コロナ騒ぎが収束して以前のようにCHKに参集できる日の一日も早い到来が待たれます。

世話人 高橋廣介 (片瀬山四丁目)



野口体操 第2、4木曜午後

ボランティア講師の志村玲子さんの指導で、野口三千三氏のはじめた体操を教えてください。体をほぐし、体をほどき、自然に貞(き)く・・・を合言葉にゆったりした体操です。

参加費 100円



二水会

第2水曜午前

二水会誕生



毎月第二水曜日に何となくおしゃべりをしようというところから始まった会です。木曜サロンの男性達に刺激されたのがきっかけ。話し合いの中からテーマを設定し、まず6、7、9月と三回、大庭浩子さんの「漢詩を読む会」。毎回10名を超す熱心な参加者で盛り上がりました。次いで、10月には、97歳でお元気

な四丁目の前沢安子さんをお招きして、戦前戦中を大連で過ごされ、終戦の引き揚げの苦労を経験された様々な貴重なお話を伺いました。談話形式の会場に加えて階下の談話室や自宅からのリモートでの参加も成功しました。今後は、12月クリスマスリースづくり。年明けからは「マイブックづくり」に取り組み、PCを駆使して編集、製本方法など、時間をかけて順次進めていきます。

会の運営は、必要に応じて考え、話し合い、流動的に動かしていきたいと思っています。

朗読の会

第4火曜午後

「朗読の会に入りませんか」とお誘いを受け、自信のないままに始めました。一人住まいで声を出すことはほとんどない生活だったので声帯は機能低下するのは当然です。今ならまだ間に合うと考え、続けていこうと決心しました。現在は何となく皆さんについて行けるようになりましたがまだまだです。毎回用意していただくテキストは歌舞伎のせりふ（外郎売りの台詞）をはじめ古典文学（太平記など）、最近の小説、エッセイと多彩でこれらを読むことが出来るのも楽しみの一つです。朗読は、健康でなければできませんし、声を出すことは健康維持に役立っていると思います。



清水明（片瀬山五丁目）

将棋塾

第2土曜/第4日曜

10時～12時まで

私は30代から藤沢南口にありました「佐伯道場」で教えられた経験から3年前からコミュニティハウスで小学生を対象に月に2回将棋の楽しさを教えるようになりました。最近の藤井八段の活躍も刺激になり、将棋に興味を持つようになったと思えますが、私はまず冒頭に「挨拶の仕方」、「他の人たち（両親、家族、知り合い）との関わり合い、日常の言葉づかい」などの大切さを説くようにしています。毎回3分のスピーチですが、「前回教えたことの再確認」、「将棋は急には強くならない、一步一步で覚えたことを忘れない」、「勝つことより負けないのが大切」なども強調しております。ご両親も子どもさんの真剣なまなざしを覗いてくださることを望んでいます。



鈴木 薫（日本将棋連盟三段・片瀬5丁目）

定例の **金曜映画劇場、中国茶サロン、歌声喫茶、キッズクッキング** は

当面開催中止、来年以降コロナの収束状況を鑑みて再開します。

コミュニティハウス片瀬山の山本文庫

この施設の大きな特徴は上下階に五つの図書室があることです。蔵書はおよそ1万冊！文学書、古典、ドキュメンタリーから旅行記、小説、エッセイ、囲碁将棋など様々な趣味に関する本など、実に多様です。自由に閲覧していただき談話室でそのまま読むこともできるし、貸し出しもしています。

平日お勤めの方のために第4日曜の午前中もオープンしています。



—コロナ禍のなかで—

この度のコロナ騒ぎは、夏の酷暑と相まって想像を超える拡がりで見守る人々の生活を痛めつけました。感染状況の進行に次いで相次ぐ著名な人達の感染・罹患・死亡の報道はパンデミックの怖さを実感させるに十分でした。ここ片瀬山コミュニティハウスでは、4月5月の閉鎖、今は万全の策を講じながら、限定でオープン運営に当たっています。日常の掃除や消毒作業、換気の徹底など、また来所された人達のソーシャルディスタンスの保持、こうしたスタッフの地道な努力には本当に頭が下がるばかりですが、この場所を絶対に集団感染の場（クラスター）にしてはならないという強い気持ちの表れだと思います。ひとり暮らしの高齢者や、幼児を抱えたママさんたちにとってハウスに行って人と交流する、この安心感は極めて貴重であり、スタッフはその期待に応えたいという使命感をもって運営に当たっています。サポーターの一員として何か出来ることがないかと日々自問していますが残念ながら堂々巡りの状況です。一日も早い有効なワクチンや治療薬の開発が望まれますが、報道をみてもまだまだ時間がかかりそうです。私たちは油断することなく手近で出来ることから感染予防に努め、コロナ禍の終息を迎え、また再びあの賑やかで楽しいコミュニティハウスを取り戻したいと願っています。



コミュニティハウス片瀬山 監査役 金子豊司 (片瀬山五丁目)

運営を支えるボランティア募集

コミュニティハウス片瀬山の運営は地域のボランティアで支えられています。運営ボランティアをサポーターと称し、役員もサポーターで構成されます。サポーターも役員も手当はありませんが、受付当番として日々の運営を担っていただいています。受付当番は月に1, 2回でもよく、ご自分の都合で申し出てもらいます。ここでの幅広い年代の利用者やサポーター同士の交流が楽しいことであり、とくに高齢者層にとっては日常生活の活性化や健康促進にもつながると考えております。

草花の手入れ、庭木に剪定を担ってくださるボランティアもいらっしゃいます。

コミュニティハウスの運営は3か月に1度のサポーター会議（役員及び各サークルの代表10数名）で話し合い決定されます。10月のサポーター会議はリモートで行いました。尚、サポーターはボランティア保険制度に加入登録、またここでの活動は藤沢市の「生き生きボランティア制度」に対象なので、申請するとボランティア活動回数に応じた手当（1回100円）が支給されます。

地域の皆様からのサポーター登録のお申し出をお待ちしています



サポーター・賛助会員数

(名)

地区別	片瀬山地区					その他	計
	一丁目	二丁目	三丁目	四丁目	五丁目		
サポート会員	6	2	13	8	20	27	76
賛助会員	12	0	17	20	27	23	99

最近できた「片瀬山環境委員会」のホームページで「コミュニティハウス片瀬山」の紹介と会報の1号からのすべてがご覧いただけます。

編集後記

コロナ禍は人によって受け止め方、対応の仕方はさまざまです。自粛しつつも先の見えない中、人と会い元気に過ごすことも大切。最近の利用者は去年の5割程度でしょうか。この冬、インフルエンザと同時流行が懸念される中、一段と注意をはかっていかねばという思いです。

予定より遅れましたが現状をお知らせするべく会報6号発行にこぎつけました。(HS)